

## 環境報告ガイドライン対照表

報告事項	掲載ページ	CONTENTS
<b>1. 環境報告の基礎情報</b>		
<b>1. 環境報告の基本的要件</b>		
報告対象組織	P.1	編集方針
報告対象期間	P.1	編集方針
基準・ガイドライン等	P.1	編集方針
環境報告の全体像	—	—
<b>2. 主な実績評価指標の推移</b>		
主な実績評価指標の推移	P.34~37	環境データ
<b>2. 環境報告の記載事項</b>		
<b>1. 経営責任者のコミットメント</b>		
重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	—	—
<b>2. ガバナンス</b>		
事業者のガバナンス体制	P.10	マネジメント体制
重要な環境課題の管理責任者	P.10	マネジメント体制
重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	P.10	マネジメント体制
<b>3. ステークホルダーエンゲージメントの状況</b>		
ステークホルダーへの対応方針	—	—
実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	—	—
<b>4. リスクマネジメント</b>		
リスクの特定、評価及び対応方法	P.10	マネジメント体制
上記の方法の全社的なリスクマネジメントにおける位置付け	—	—
<b>5. ビジネスモデル</b>		
事業者のビジネスモデル	—	—
<b>6. バリューチェーンマネジメント</b>		
バリューチェーンの概要	P.18~29	バリューチェーンにおける環境配慮
グリーン調達の方針、目標・実績	P.19	「グリーン認定」制度の運用を通じた環境リスク低減
環境配慮製品・サービスの状況	P.18	環境配慮設計の実施
	P.27~28	製品使用時のCO <sub>2</sub> 削減貢献
<b>7. 長期ビジョン</b>		
長期ビジョン	P.2~3	「環境ビジョン2050」
長期ビジョンの設定期間	P.2~3	「環境ビジョン2050」
その期間を選択した理由	—	—
<b>8. 戦略</b>		
持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	P.2~3	「環境ビジョン2050」
<b>9. 重要な環境課題の特定方法</b>		
事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	—	—
特定した重要な環境課題のリスト	—	—
特定した環境課題を重要であると判断した理由	—	—
重要な環境課題のバウンダリー	—	—
<b>10. 事業者の重要な環境課題</b>		
取組方針・行動計画	P.5~6	「脱炭素社会」実現に向けた取組、取組例
	P.16~17	環境計画2023
実績評価指標による取組目標と取組実績	P.40	生物多様性行動指針
	P.15	第9次環境計画の総括
実績評価指標の算定方法	P.16~17	環境計画2023
	P.20~21	生産時のCO <sub>2</sub> 排出削減
	P.27~28	製品使用時のCO <sub>2</sub> 削減貢献
実績評価指標の集計範囲	P.23~24	水使用量の削減
	P.1	編集方針
リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	—	—
報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	P.37	第三者検証報告

報告事項	掲載ページ	CONTENTS
<b>参考資料：主な環境課題とその実績評価指標</b>		
<b>1. 気候変動</b>		
<b>温室効果ガス排出</b>		
スコープ1排出量	P.36	バリューチェーンでの温室効果ガス排出量
スコープ2排出量	P.36	バリューチェーンでの温室効果ガス排出量
スコープ3排出量	P.36	バリューチェーンでの温室効果ガス排出量
<b>原単位</b>		
温室効果ガス排出原単位	—	—
<b>エネルギー使用</b>		
エネルギー使用量の内訳及び総エネルギー使用量	P.34~35	マテリアルバランス
総エネルギー使用量に占める再生可能エネルギー使用量の割合	P.34~35	マテリアルバランス
<b>2. 水資源</b>		
水資源投入量	P.23~24	水使用量の削減
	P.34~35	マテリアルバランス
水資源投入量の原単位	P.36	取水・排水・水の再利用量
	P.23~24	水使用量の削減
排水量	P.36	取水・排水・水の再利用量
	P.23~24	水使用量の削減
事業所やサプライチェーンが水ストレスの高い地域に存在する場合は、その水ストレスの状況	P.34~35	マテリアルバランス
	P.36	取水・排水・水の再利用量
<b>3. 生物多様性</b>		
事業活動が生物多様性に及ぼす影響	P.30~32	生物多様性保全活動
事業活動が生物多様性に依存する状況と程度	P.30~32	生物多様性保全活動
生物多様性の保全に資する事業活動	P.30~33	生物多様性保全活動
外部ステークホルダーとの協働の状況	—	—
<b>4. 資源循環</b>		
<b>資源の投入</b>		
再生不能資源投入量	—	—
再生可能資源投入量	—	—
循環利用材の量	P.23~24	水使用量の削減
	P.36	取水・排水・水の再利用量
循環利用率(=循環利用材の量/資源投入量)	P.23~24	水使用量の削減
	P.36	取水・排水・水の再利用量
<b>資源の廃棄</b>		
廃棄物等の総排出量	P.22	廃棄物最終処分の低減
	P.34~35	マテリアルバランス
廃棄物等の最終処分量	P.22	廃棄物最終処分の低減
	P.34~35	マテリアルバランス
<b>5. 化学物質</b>		
<b>化学物質の貯蔵量</b>		
化学物質の貯蔵量	—	—
化学物質の排出量	P.25	化学物質の管理と排出抑制
	P.34~35	マテリアルバランス
化学物質の移動量	P.25	化学物質の管理と排出抑制
	P.34~35	マテリアルバランス
化学物質の取扱量(使用量)	P.25	化学物質の管理と排出抑制
	P.34~35	マテリアルバランス
<b>6. 汚染予防</b>		
<b>全般</b>		
法令遵守の状況	P.13	環境事故の防止
<b>大気保全</b>		
大気汚染規制項目の排出濃度、大気汚染物質排出量	P.34~35	マテリアルバランス
<b>水質汚濁</b>		
排水規制項目の排出濃度、水質汚濁負荷量	P.34~35	マテリアルバランス
<b>土壌汚染</b>		
土壌汚染の状況	P.13	環境事故の防止